

伊丹市特産花木 「南京桃」



伊丹市の東野、大野、西野地区では、古くから花木の生産とともに苗木づくりの盛んな土地柄で、花木の接ぎ木技術は卓越したものがああります。

隣接する宝塚市の山本地区では、遠く戦国時代に、豊臣秀吉から木接ぎ太夫の称号を賜った程の名手を出したという石碑がああります。

「南京桃」は、中国原産の美しい八重咲きの花桃が、約150年前、伊丹の地に持ち込まれて育てら

れ、当地の伝統的な生産方法によりつくられた特産花木です。

ところで、この「南京桃」は、1本の木から「赤」「白」「ピンク」の3色の花が咲くのをご存知ですか。

「南京桃」は早春に播種し台木を育て、2年目の秋“芽接ぎ”をおこない、更に、翌年の夏には“ねん枝（枝曲げ）”といった園芸技法を駆使して、枝先を木の根本にワラで引っ張り釣り鐘のような「枝垂れ桃」の形になるように、3年がかりで仕上げ、鉢に植え替えます。

つまり「南京桃」は、1本の台木に3色の花桃の芽を接ぐ技術が生かされているのです。

今年も寒い冬に終わりを告げ、桃の花が咲く季節がやってきました。

「南京桃」は、農家の皆さんが心を込めて栽培したものです。心ゆくまでお楽しみください。

「南京桃」に関するお問い合わせは

伊丹市南京桃ブランド化実行委員会

JA兵庫六甲 伊丹営農支援センター TEL072-772-3302

伊丹市役所 農政課

TEL072-784-8050